

## 論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Cohort profile: Aichi regional sub-cohort of the Japan Environment and Children's Study (JECS-A)

和文タイトル: エコチル調査愛知ユニットセンターにおけるコホートプロフィール

ユニットセンター(UC)等名: 愛知UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: BMJ Open

年: 2019 月: 11 巻: 頁:

筆頭著者名: 榎原毅

所属UC名: 愛知UC

目的:

子どもの健康に影響を及ぼす可能性のある様々な要因について追加調査で検討していくために、愛知ユニットセンターが追跡している母5721名、児5554名のコホート基本特性とともに、追加調査で収集する生体試料項目や測定項目などを紹介するコホート・プロフィールを作成することを目的とした。

方法:

エコチル調査愛知ユニットセンターのコホートに所属する母親およびその児を対象とし、基礎的統計(母親の出産時年齢・学歴・世帯収入・喫煙歴など、児の年齢・身長・体重など)について検討した。

結果:

エコチル調査愛知ユニットセンターに登録された妊婦と愛知県全体の統計情報と比較したところ、出産時年齢では同様の分布傾向が確認された。しかし、学歴と世帯収入において差異が確認された。他方、エコチル調査愛知ユニットセンターに登録された児の基礎的統計は、愛知県全体と同様の分布傾向を示していた。出産後18か月時点でエコチル調査に継続して参加した児は5,502名であった。

考察:(研究の限界を含める)

エコチル調査愛知ユニットセンターに登録されている母親は愛知県の全体平均と比較して学歴および世帯収入が比較的高い水準にあった。そのため、エコチル調査愛知ユニットセンターのコホートデータを用いる際にはその点について考慮する必要がある。

結論:

エコチル調査愛知ユニットセンターのコホートに所属する母親およびその児の基礎的統計について検討し、特に児の基礎統計については愛知県の全体平均と同様の傾向を示していた。